



会議議事録

会議名	令和3年度 第3回 地域リハ推進委員会
-----	---------------------

開催概要

開催日時	令和 4年 3月 4日 (金)	開始時刻	15:00	終了時刻	16:10
開催場所	オンライン会議				
出席者	名誉会長：浜村明徳 会 長：齊藤正身 担当三役/委員長：平田好文 委 員：大串 幹、岡 光孝、岡持利巨、佐藤英雄、高柳公司、田中康之、堀田富士子、松坂誠應、三宅貴志				

議事内容	
<p>【本日の議題】</p> <p>1. コロナ禍における地域リハ活動状況アンケート（全国調査と熊本県調査の比較報告）</p> <p>2. ポストコロナ廃用症候群の患者へのリハビリテーション</p> <p>3. その他</p> <p>.....</p> <p>1. コロナ禍における地域リハ活動状況アンケート（全国調査と熊本県調査の比較について平田委員長より報告）</p> <p>◇ 熊本県の広域支援センターにも調査を依頼し、全国調査との比較をおこなったが、今後、調査結果のフィードバックについてはどう考えるか。</p> <p>→<u>全国調査の結果（自由記載含む）のみ会員に向けて配信する。</u></p> <p>2. ポストコロナ廃用症候群の患者へのリハビリテーション</p> <p>◇ 平田委員長の病院近隣の居住系施設で起こったクラスター事例※について意見交換。</p> <p>※高齢の軽症者は（入院）転院できないため、居住系施設内での廃用性症候群等に対するリハビリテーションの進め方をどのように考えたらよいか。</p> <p>【意見概要のみ整理】</p> <p>→リハ職のいない施設の場合、必要性が高く且つ落ち着いていれば、まずは直接的に老健や回復期病棟で生活機能低下を支援するが、当該施設ケアスタッフの、日常生活機能低下などへの対応力を上げることに對し間接的に支援することも考えられる。加えて、一般介護予防と同様の考え方として、そこで暮らす当事者が自助的な行動変容を起こすような、日ごろからの支援も必要となるのではないか。</p> <p>3. <u>浜村名誉会長からのご提案</u>（当協会が地域リハ推進の旗振り役となるために）</p> <p>◇ 当委員会が主体となり、会員施設に対して、地域リハ活動を、①どのように考え何をどのように行っていたか、②できないときはどこまでやっているか、③これからどのようにしていくつもりかをアンケート調査し、その結果から当協会の方策・戦略を立てたい。</p> <p>◇ 地域リハ塾生の力も借りて、ともに進める。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	
議事録作成日	R4年3月4日
議事録作成者	事務局